

【著書】

1. *New Horizon English Course I, II, III* (編著: 笠島準一、大下邦幸、他 38 名)、東京書籍 (東京)、2016 年 2 月
2. 山勢博彰、山勢善江編著 (分担執筆: 河合正成)、成人看護技術 急性・クリティカルケア看護 (pp151-158,160-163)、メヂカルフレンド社、2015 年 11 月

【論文】

1. 住本 和博、交野 好子、金山 尚裕、3次元CGによる分娩管理教育、産婦と婦人科 82 巻 12 号 1422-1427、2015 年 12 月
2. Nakamura Y, Yaguchi C, Itoh H, Sakamoto R, Kimura T, Furuta N, Uchida T, Tamura N, Suzuki K, Sumimoto K, Matsuda Y, Matsuura T, Nishimura M, Kanayama N. Morphologic characteristics of the placental basal plate in in vitro fertilization pregnancies: a possible association with the amount of bleeding in delivery. Hum Pathol. 46 巻 8 号 1171-1179、2015 年 4 月 (査読あり)
3. 今野美紀, 田畑久江, 檜木野裕美, 山本真充, 吉川由希子, 小野智美, 清水称喜, 吉本康子, 伊織光恵, 平田美佳, 後藤真千子, 早田典子, 佐藤洋子, 横山佳世, 浅利剛史, 蝦名美智子, タブレット端末用コンテンツを用いてプレパレーションを行った小児の反応と評価—看護師と保護者に行った質問紙調査自由記述のテキストマイニングによる分析を通して, 札幌保健科学雑誌(5) 53 - 58 , 2016 年 3 月
4. Ueshima H, Kadowaki T, Hisamatsu T, Fujiyoshi A, Miura K, Ohkubo T, Sekikawa A, Kadota A, Kadowaki S, Nakamura Y, Miyagawa N, Okamura T, Kita Y, Takashima N, Kashiwagi A, Maegawa H, Horie M, Yamamoto T, Kimura T, Kita T, ACCESS and SESSA Research Groups、Lipoprotein-associated phospholipase A2 is related to risk of subclinical atherosclerosis but is not supported by Mendelian randomization analysis in a general Japanese population. Atherosclerosis 246 141-147、2016 年 3 月 [査読有り]
5. Wen W, Kato N, Hwang JY, Guo X, Tabara Y, Li H, Dorajoo R, Yang X, Tsai FJ, Li S, Wu Y, Wu T, Kim S, Guo X, Liang J, Shungin D, Adair LS, Akiyama K, Allison M, Cai Q, Chang LC, Chen CH, Chen YT, Cho YS, Choi BY, Gao Y, Go MJ, Gu D, Han BG, He M, Hixson JE, Hu Y, Huang T, Isono M, Jung KJ, Kang D, Kim YJ, Kita Y, Lee J, Lee NR, Lee J, Wang Y, Liu JJ, Long J, Moon S, Nakamura Y, Nakatochi M, Ohnaka K, Rao D, Shi J, Sull JW, Tan A, Ueshima H, Wu C, Xiang YB, Yamamoto K, Yao J, Ye X, Yokota M, Zhang X, Zheng Y, Qi L, Rotter JI, Jee SH, Lin D, Mohlke KL, He J, Mo Z, Wu JY, Tai ES, Lin X, Miki T, Kim BJ, Takeuchi F, Zheng W, Shu XO、Genome-wide association studies in East Asians identify new loci for waist-hip ratio and waist circumference. Scientific reports 6 17958、2016 年 1 月 [査読有り]
6. 本多 容子, 阿曾 洋子, 田丸 朋子, 伊部 亜希, 片山 恵、入院中の高齢者に対する継続的な足浴が下肢筋力および足関節柔軟性に与える影響—高齢者の転倒予防をめざしたケアの検討、Health and Behavior Sciences 14(2) 85-92、2016 年 3 月
7. 明福真理子, 小島博人, 北山尚志, 買手登美子, 木谷尚美, 新口春美、認知症の人に対してできることを中学生といっしょに考える取り組み—介護老人保健施設が中学生を対象に実施した認知症サポーター養成講座、認知症ケア事例ジャーナル 8(4) 321-325、2016 年 3 月
8. 杉山 由香里, 比嘉 勇人, 田中 いずみ, 山田 恵子, 看護師の援助的コミュニケーションスキルと私的スピリチュアリティおよび共感性の関連, 富山大学看護学会誌, 15(1), 17-27, 2015 年 9 月
9. 鈴木 隆史, 野沢 和也, 喜多 義邦, 交野 好子, 患者調査に基づく疾病分類別入院者推計数からみた福井県嶺

【その他】

<学会発表>

1. 橋本容子、笠井恭子、高島眞理子、看護学生のレジリエンスと生活習慣との関連、第35回日本看護科学学会学術集会、2015年12月
2. 蝦名美智子、田畑久江、山本真充、伊織光恵、榎木野裕美、今野美紀、小野智美、吉川由希子、佐藤洋子、清水称喜、吉本康子、平田美佳、横山佳世、羽場美穂、タブレット端末を用いた検査・処置のプレパレーションツールの検討、第35回日本看護科学学会学術集会、2015年12月
3. 山本真充、吉川由希子、田畑久江、今野美紀、榎木野裕美、小野智美、清水称喜、吉本康子、伊織光恵、平田美佳、佐藤洋子、横山佳世、羽場美穂、浅利剛史、蝦名美智子、タブレット端末媒体を用いたプレパレーションの評価—保護者への質問紙調査結果を通して、第35回日本看護科学学会学術集会、2015年12月
4. Miwako Hoshi, Yukiko Yoshikawa, Yukari Watanabe Reliability and Validity of the Clinical Nursing Competency Scale, 第35回日本看護科学学会学術集会、2015年12月
5. 伊部 亜希, 阿曾 洋子, 宮嶋 正子, 石澤 美保子, 林 愛乃, 藤本 かおり, 片山 恵, 羽賀 知行, 竹田 和博、布団被覆時の血流と皮膚表面温度・湿度、寝床内温度・湿度との関係—高齢者を対象とした踵骨部での検討、第23回看護人間工学研究発表会(宮崎)、2015年10月
6. 片山 恵, 阿曾 洋子, 伊部 亜希, 松澤 洋子, 片山 修、椅座位姿勢角度の違いによる怒責時の筋力と主観的負担感、第23回看護人間工学研究発表会(宮崎)、2015年10月
7. 鈴木 みゆき, 伊部 亜希, 竹田 千佐子、夏季における簡便な動作の実施による看護師の皮膚温の変化と患者の主観、日本健康行動科学会第14回学術集会(大阪)、2015年9月
8. 宮嶋 正子, 内垣 亜希子, 藤本 かおり, 池田 七衣, 平野 方子, 伊部 亜希, 阿曾 洋子、集中治療室入室患者の仙骨部・踵部角層水分量におよぼす影響因子の検討、第17回日本褥瘡学会学術集会(仙台)、2015年8月
9. 家根明子, 小野塚元子, 廣川聖子, 高橋晶、認知症カフェにスタッフとして参加した専門職の学びと課題、日本老年看護学会第20回学術集会、2015年6月
10. 鈴木久義, 南朗子, 家根明子、健康づくりに向けた高齢者の実態と意識—健康イベントに参加した高齢者に実施したアンケート結果から、日本老年看護学会第20回学術集会、2015年6月
11. 小野塚元子, 家根明子、スウェーデンにおける認知症ケアの実践—看護職・福祉職へのインタビューと同行訪問を通して、第16回日本認知症ケア学会大会、2015年5月
12. 家根明子, 小野塚元子, 北村隆子, 深山つかさ, 鈴木久義、Second report on support for patients with early-stage dementia: the significance of and issues associated with dementia cafés for these patients and their family members、第30回ADI国際アルツハイマー病学会、2015年4月
13. 小野塚元子, 家根明子, 北村隆子, 深山つかさ, 鈴木久義、Support for patients with early-stage dementia: First report on dementia café activities、第30回ADI国際アルツハイマー病学会、2015年4月
14. 杉山 由香里, 比嘉 勇人, 田中 いずみ, 山田 恵子、患者の内面的成長に向けた看護師の援助的コミュニケーションプロセス、第16回富山大学看護学会(富山)、2015年12月
15. 杉山 由香里, 比嘉 勇人, 田中 いずみ, 山田 恵子、看護師の援助的コミュニケーションスキルと私的スピリチュアリティおよび共感性の関連、第25回日本精神保健看護学会学術集会(茨城)、2015年6月
16. 中堀伸枝, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明, 林裕志, 天神久実, 認知症と生活習慣・既往歴との関連、第70回富山県医学会(富山)、2016年3月
17. 中堀 伸枝, 鈴木 隆史, がん検診受診率に影響する因子についての基礎的研究、第43回北陸公衆衛生学会(金沢)、2015年11月

18. 中堀伸枝, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志, 子どもの食行動・生活習慣・健康と家庭環境との関連—文部科学省スーパー食育スクール事業の結果から—, 第72回北陸学校保健学会 (金沢), 2015年10月
19. 山崎 松美, 蓮井 静香, 野沢 和也, 稲垣 美智子, 2型糖尿病患者における筋力の実態と1年後の変化, 第58回日本糖尿病学会 年次学術集会 (下関), 2015年5月
20. 後藤 千佐子, 反応性愛着障害, 発達障害等のある中学生への調理授業の実践と評価, 日本臨床教育学会第5回研究大会 (札幌市), 2015年9月

<講演>

1. 大下邦幸, 自分が理想とする生徒像: そのために実践していること (パネリスト), 英語教育懇話会冬季シンポジウム (福井), 2015年12月
2. 大下邦幸, 意見・考え重視の英語授業: その意義と授業の工夫, 石川県教育センター高校英語教員研修会 2015年7月
3. 杉浦良啓, 患者は自分を唯一の人として理解されることを医師に期待している, 慶應義塾大学病院 2016年2月
4. 杉浦良啓, 看護師長の共感学習が組み込まれた医療メディエーション研修と有害事象の検討, 第10回医療の質・安全学会学術集会 (東京), 2015年11月
5. 杉浦良啓, 中規模病院での医療事故調査制度への取り組み (シンポジウム), 第17回日本医療マネジメント学会学術総会 (大阪), 2015年6月
6. 河合正成, もしもの被災に備える知っておきたい健康を守る方法, 国立病院機構敦賀医療センター「地域公開講座」, 2015年12月
7. 河合正成, 災害による被害を最小限にするための知識と課題, 敦賀市介護サービス事業者連絡協議会, 2015年11月

<その他の研究業績>

1. 大下邦幸監修, *Sycamore Synergies: A Collection of Essays by the Tsuruga Nursing University Students*, 敦賀市立看護大学, 2015年4月